


2022.11.25

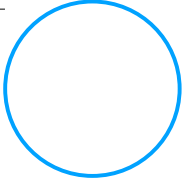


第5回中国地区老人保健施設大会 IN山口

## ぺあれんと通所リハビリにおける新体制作りの取り組み ～②朝夕の集い～

---

医療法人博愛会 介護老人保健施設ぺあれんと  
通所リハビリテーションセンター 介護福祉士 野村清美



2020年9月～

ペあれんと通所リハビリ新体制作り スタート

全業務の総点検（24項目）



① 朝礼・夕礼(申し送り)	⑨ 体験・新規受け入れ	⑰ 記録・連絡帳・その他帳簿
② 送迎・車両管理・安全運転	⑩ 家族面談(参加体験) ・家族ケア推進	⑱ 勤務シフト・就業管理
③ バイタル・処置・看護	⑪ 入浴サービス	⑲ 備品・施設管理
④ <b>朝・夕の集い</b>	⑫ トイレ誘導・排泄介助	⑳ 法令遵守・実地指導対策
⑤ リハビリテーション	⑬ 食事サービス	㉑ 会議運営
⑥ 鍼灸マッサージ・物療他	⑭ 外出サービス	㉒ 人材育成(内部・外部研修他)
⑦ アクティビティ・グループワーク・クラブ活動	⑮ 利用者さま懇談会・アンケート	㉓ ICT・AI・ロボット活用促進
⑧ カラオケ・シアター・ショーサービス(一人一芸)	⑯ 自立支援・活動と参加の促進	㉔ 施設内・法人内・地域連携促進

ペあれんと通所リハビリでは、ブランディングを明確にし、地域でオンリーワンの施設になるために、総点検を開始しました。中でも「朝夕の集い」(以下集い) は、開始・終了というメリハリをつける意味で、重要な役割を担っています。

## 「通所リハビリテーション新体制づくり」

～現行サービスの総点検の6つの視点（キーワード）となるもの～

① 自立支援・個別ケアの推進

② サービスの品質向上

③ 機能強化（多機能化）

④ ご家族と二人三脚のケア

⑤ 法令遵守・生産性向上  
（働き方改革）

⑥ 心豊かなスタッフ育成

通所リハビリテーション新体制づくりでは、6つの視点に沿って課題を抽出し、課題解決の具体策を検討しています。メンバーは通所・リハビリ職員・相談員等で構成され、サービス別総点検業務改善シートを作成します。

「集い」では、現状の朝の会の課題抽出と、解決策を検討しました。

## 朝・夕の集い開催の意義

①円滑に運営するために、サービスを受けられるご利用者さまと朝の集いを開催し、先ずはスタッフが揃って、ご利用者さまに参加に対する感謝を伝える。朝・夕の集いを会順に沿って行い、1日の日課を終える。

②集いは、職員が準備運営を行うが、自立支援促進とご利用者さまにより輝いていただくために、利用者さまの個性や特技を生かした集いの運営を行う。

③「利用者さま懇談会」が開催された日は、会の内容について、ご利用者さま代表から夕の集いで報告していただく。



**利用者さま本位の通所サービス** を目指します



集い開催の意義は、

①ご利用者さまと朝の集いを開催し、参加に対する感謝を伝えま  
す。

②自立支援促進とご利用者さまに更に輝いていただくために、個  
性や特技を生かした集いの運営を行う必要があります。

③「利用者さま懇談会」が開催された日は、会の内容についてご  
利用者さま代表から夕の集いでご報告いただいています。

できるだけ利用者さまが参画（さんかく）する「利用者さま本位の  
通所サービス」を目指しています。

●

以前のぺあれんと通所リハビリで行われていた朝の会は…

- 日付の確認
- 今日は何の日？（月間デイ などの本を参照）
- 昼食のメニュー紹介
- ラジオ体操

⇒ご利用者さまの参加がほとんどなく、一方的に職員が進行していた。

⇒会の始まりと終わりがきちんとしたものではなかった。

⇒新規のご利用者さまなどの紹介がなかった。



以前、行っていた朝の会は、

ご利用者さまの参加がほとんどなく、一方的に職員が進行しているものでした。

また会の始まりと終わりが曖昧で、目的も明確ではありませんでした。

新規のご利用者さまなどの紹介もなく、歓待も行えていませんでした。

## 朝・夕の集いを開催するために取り組んだ内容

- ① 「朝の集い・夕の集い」のマニュアル作成
- ② 曜日ごとのご利用者さま代表挨拶の選出
- ③ 先言後礼の徹底
- ④ 通所職員への「朝・夕の集い」の目的の周知徹底
- ⑤ 利用者さま懇談会との連携



集いを開催するために取り組んだ内容は

- 1、マニュアル作成
- 2、曜日ごとのご利用者さま代表挨拶の選出
- 3、先言後礼の徹底

【先言後礼】とは、「先に言葉（挨拶）を発して、後で礼をする」という意味です。

- 4、職員へ周知徹底

集いの目的を掲示し、併せて2週間、朝礼時に、目的を読み上げることを実施、また、職員対象に自立支援勉強会の実施、「自立支援」をテーマにした利用者さまの学習会「健康倶楽部」を行っています。

- 5、利用者さま懇談会との連携

懇談会で話し合われた内容や、いただいた意見・要望などを、夕の集いで、ご利用者さま代表に報告していただいています。

## 朝の集いの様子



通所開始の挨拶



ご利用者さま代表の挨拶



ご利用者さま紹介

集いの様子をご紹介します。

職員は一列に並び、本日のご参加への感謝の気持ちを込めて礼をします。ご利用者さま代表の挨拶では、元気のでる声掛けを毎回してくださっており、併せてマスクの着用のお願ひも発信してくださっています。

ご利用者さま紹介は、利用者さまが輝ける場を提供する目的で行っています。季節の出来事、本日の予定などもお伝えしており、昼食のメニュー紹介はご利用者さまが行ってくださっています。

## 朝の集いの様子



ラジオ体操



集い中の通所ホールの様子

一旦集いを終了し、その後ラジオ体操を行います。

利用者さまも集いに真剣に参加され、職員は集いのサポートを行います。







## 夕の集いの様子



本日の感想



懇談会の報告  
(懇談会開催日)



帰宅前の体操



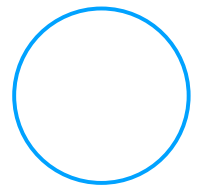
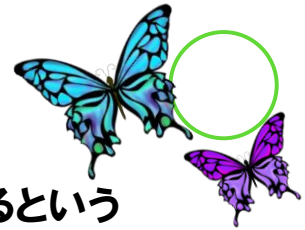
夕の集いでは、利用者さまに感想をお聞きしたり、レク等の催し物など、さまざまな情報を発信しています

利用者さま懇談会が行われた日は、懇談会の内容を夕の集いで報告していただいています。

恒例となっている帰宅前の体操を行い、体操終了後には、職員は一行に並び、司会者の号令に合わせて礼を行います。その後、送迎へ移ります。

## 結果・考察

- ① 通所の始まりと終わりのメリハリがついた。
- ② ご利用者さま自身が運営していく通所であるという意識が高まった。
- ③ 自立支援の牽引の場としての役割を果たせるようになった。
- ④ ご利用者さまの発言する機会が増え、利用者さまが輝く場となってきた。
- ⑤ 朝・夕の集いに、利用者さまの意識が向くようになってきた。



集いを開始し、約2年が経ちました。開始当初は、職員から消極的な意見も聞かれましたが、実際に行っていく中で、自立支援の促進、利用者さまの新たな一面が発揮できたり、利用開始と終了のメリハリがつき、集いの効果を実感することができ、職員の意識も高まってきました。利用者さま懇談会で話題となった内容を集いで紹介したり、自立支援の具体的な活動について、利用者さま自身が発信することで、利用者さま自身が運営していく通所であるという意識も高まりました。また集いの中での発言機会が増えたことや、利用者さまをご紹介することで、集いの場が、利用者さまの輝く場として役割を果たせるようになってきました。

## 新たに夕の集いに組み入れたこと

24項目の自立支援チーム内で、  
♡利用者さまを上手く褒められるようになるために、まずは職員同士を褒め合おう！



リハビリ場面や通所で過ごされている中で、  
ご利用者さまの良い所・頑張っておられる所を  
ご紹介しています。

24項目の「自立支援」チーム内で、<利用者さまができたことに共感できる職員に差がある><利用者さまお一人お一人が輝ける場面を見つけられていない>などの課題がでてきました。『利用者さまを上手く褒められるようになるために、まずは職員同士を褒め合おう！』ということで、朝礼の際に職員を褒めることを始めました。回数を重ね、その人の良いところに気づく力がついてきたので、次は、ご利用者さまをということで、通所活動時の中で、ご利用者さまの良い所・頑張っておられる所を集いでご紹介していました。





**ご清聴ありがとうございました**

ご清聴ありがとうございました。